様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和8年8月25日

（あて先）豊中市長　　様

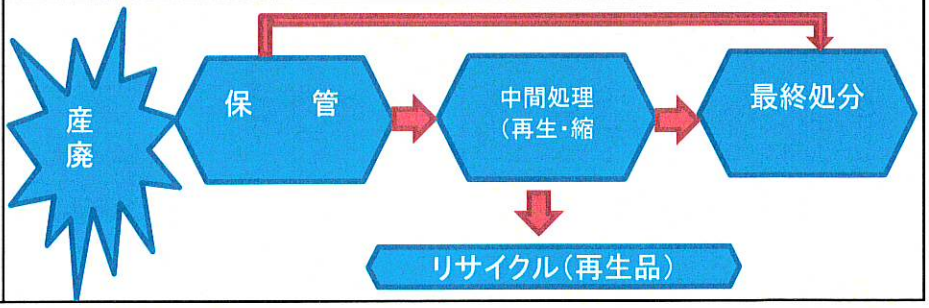
受付
令 -8.8.25
豊環環　　号
豊中市

提出者
住　所　豊中市熊野町４丁目２３番１８号
氏　名　光耀建設株式会社
代表取締役 石川 栄一
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　06-6846-3713

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	光耀建設株式会社　豊中市管轄内事業所
事業場の所在地	豊中市管轄区域内
計画期間	2026年4月1日　～　2027年3月31日

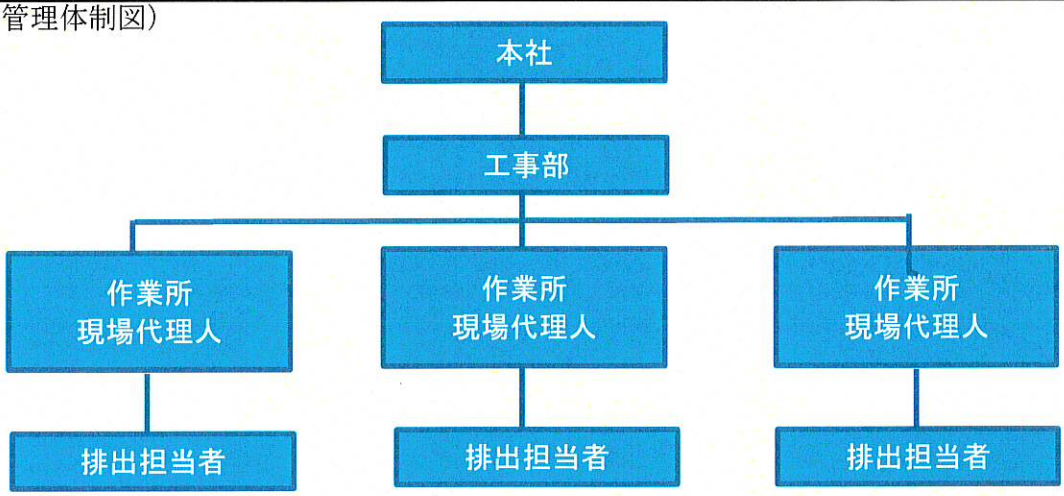
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06　総合工事業
②事業の規模	70,000万円
③従業員数	10名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	産廃 保管 中間処理（再生・縮 最終処分 リサイクル（再生品）

（日本産業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和7年度）実績】

産業廃棄物の種類	アスコン破片	がれき類　コンクリート破片　アスコン破片
排　　出　　量	3073.52　t	1081.88　t

（これまでに実施した取組）排出した産業廃棄物は、再資源化施設へ持ち込み埋め戻し材、再生合材に再生し使用している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスコン破片	がれき類　コンクリート破片　アスコン破片
排　　出　　量	2700　t	800　t

（今後実施する予定の取組）アスコン破片、がれき類等は再生資源化施設へ持ち込み再生材として再利用する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
アスコン、がれき類(ｺﾝｸﾘｰﾄ破片等) 陶磁器くずは今までと同様に再資源化施設の取扱品目に合わせ分別し持ち込む。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
上記品目の分別と同様に廃プラスチック等再資源化出来る品目について分別する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

木くず	廃プラスチック	陶磁器くず	汚泥
0 t	0 t	31.1 t	t

②計画

木くず	廃プラスチック	陶磁器くず	
t	t	20 t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（　　年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　令和7年度）実績】

産業廃棄物の種類		アスコン破片	がれき類　コンクリート破片　アスコン破片
全処理委託量		3073.52　t	1081.88　t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	3073.52　t	1081.88　t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	t	t

（これまでに実施した取組）

再資源化施設を選定し処理施設を確認の上委託契約をしている。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

木くず	廃プラスチック	陶磁器くず	汚泥
0 t	0 t	31.1 t	t
t	t	t	t
0 t	0 t	31.1 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td>【目標】
<table>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>アスコン破片</td><td>がれき類　コンクリート破片　アスコン破片</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>2700　t</td><td>800　t</td></tr>
<tr><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>2700　t</td><td>800　t</td></tr>
<tr><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）
産業廃棄物の分別などを行い排出する品目に応じ可能な限り優良認定処理業者に委託するようにします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td></td></tr>
</table>

②計画

木くず	廃プラスチック	陶磁器くず	
1 t	0 t	20 t	t
t	t	t	t
1 t	0 t	20 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

今　　年　　度　【 令和 8 年　度】　目　　標

報　　告　　表						
住　　所	名　　称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
豊中市新野町4－23－18	光耀建設株式会社		石川栄次郎	06-6843-3713	06-6849-1821	kouyou@aa.konsetsu.ne.jp

産業廃棄物の種類		計画の実施状況																		
		①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した	⑤④のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら自己処理した後の処理委託量	（⑩＝①-②-③-④+⑥-⑧-⑨＝⑫+⑬+⑭+⑮+⑯）						②+⑧	③+⑨
												委託先による区分					⑰優良認定処理業者への処理委託量(t)	自ら再生利用を行った量(t)	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)
コード	名　称	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	量　(t)	(t)	量　(t)	⑫再生利用業者への処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者への処理委託量(t)	⑭熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)	⑮その他の中間処理委託量(t)	⑯埋立処分委託量(t)			
コード参照	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	自ら中間処理を行った後の量	④の量から⑤の量を差し引いた量	⑤の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑨の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	⑩の量のうち、処理業者への再生利用委託量（⑫、⑬除く）	⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	⑩の量のうち、委託して破砕等の中間処理した量（⑫～⑭を除く）	⑩の量のうち、直接受託して埋立て最終処分した量	⑩の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	②の量と⑧の量を合計したもの（自動計算）	③の量と⑨の量を合計したもの（自動計算）
1	1500～1502 がれき類	800.00						0			800.00				800.00			0	0
2	1502 アスコン破片	2700.00						0			2,700.00				2,700.00			0	0
3	1320 陶磁器くず	20.00						0			20.00				20.00			0	#VALUE!
4								0			0.00				0.00			0	0
5								0			0.00				0.00			0	0
6								0			0							0	0
7								0			0							0	0
8								0			0							0	0
9								0			0							0	0
10								0			0							0	0
11								0			0							0	0
12								0			0							0	0
13								0			0							0	0
14								0			0							0	0
15								0			0							0	0
16								0			0							0	0
17								0			0							0	0
18								0			0							0	0
19								0			0							0	0
20								0			0							0	0
	合計	3,520	0	0	0	0	0	0	0	0	3,520	0	0	0	3,520	0	0	0	#VALUE!

（注1）トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

前　年　度　【 令和 7 年 度】　実　績

提出者						
住所	名称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
豊中市熊野町4－23－18	光耀建設株式会社		石川栄次郎	06-6843-3713	06-6849-1821	koyou@ex.hamsetsu.or.jp

産業廃棄物の種類		計画の実施状況																		
		①排出量 (t)	②自ら直接再生利用した量 (t)	③自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	④自ら中間処理した (t)	⑤④のうち熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理した後の残さ量 (t)	⑦自ら中間処理により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理した後再生利用した量 (t)	⑨自ら中間処理した自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら自己処理した後の処理委託量 (t)	（⑩＝①−②−③−④＋⑥−⑧−⑨＝⑫＋⑬＋⑭＋⑮＋⑯） 委託先による区分						②＋⑧ 自ら再生利用を行った量(t)	③＋⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)
												⑫再生利用業者への処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者への処理委託量(t)	⑭熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)	⑮その他の中間処理[redacted]委託量(t)	⑯埋立処分委託量(t)	⑰優良認定処理業者への処理委託量(t)		
コード参照	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	自ら中間処理を行った後の量	④の量から⑥の量を差し引いた量	⑥の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	⑩の量のうち、処理業者への再生利用委託量（⑬、⑭除く）	⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	⑩の量のうち、委託して破砕等の中間処理した量（⑫～⑭を除く）	⑩の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	⑩の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	②の量と⑧の量を合計したもの（自動計算）	③の量と⑨の量を合計したもの（自動計算）
1	1500～1502 がれき類	1081.88						0			1,081.88				1,081.88			0	0
2	1502 ②アスファルト破片	3073.52						0			3,073.52				3,073.52			0	0
3	1320 ③陶磁器くず	31.10						0			31.10				31.10			0	0
4								0			0.00				0.00			0	0
5								0			0.00				0.00			0	0
6								0			0							0	0
7								0			0							0	0
8								0			0							0	0
9								0			0							0	0
10								0			0							0	0
11								0			0							0	0
12								0			0							0	0
13								0			0							0	0
14								0			0							0	0
15								0			0							0	0
16								0			0							0	0
17								0			0							0	0
18								0			0							0	0
19								0			0							0	0
20								0			0							0	0
	合計	4,187	0	0	0	0	0	0	0	0	4,187	0	0	0	4,187	0	0	0	0

（注1）トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。